

覚王山「春祭」

覚王山・日泰寺参道の店に紅茶を買いに行った。土曜日の夕方なので閑散としていると思いながら、地下鉄から参道に向かうと、なんだか雰囲気がちがう。人並みがすごく、歌や掛け声が聞こえてくる。案内を見ると、4月1日と2日は恒例の覚王山「春祭」である。交通規制がしてある参道では歌や踊りなどの催しとともに、フリーマーケットや商店の店先に多くの人が並んでいる。



レポートでも紹介してきたように、覚王山といえば日泰寺の「弘法さん」が有名である。毎月21日には参道に出店がぎっしりと並び、身動きがとれないほどだ。参道を行き来する人の多くはお年寄りであり、元気な「老人パワー」に圧倒される。この春祭の主役は若者であり、「弘法さん」とは雰囲気がまるで違う。若者による「街かどイベント」という感じだ。

覚王山商店街振興組合では事業部の「街づくり委員会」が中心になって、こうした祭やイベントに力を注いできた。10月初旬には「参道ミュージアム」が10日間にわたり開催されるという。大須とともに覚王山も「商店街とまちづくり」で注目されるようになってきたが、たまたま盛況の春祭に出会って、元気な覚王山を再確認した。翌日の2日は、あいにく朝から雨がつつき、雷雨にも見舞われた。これを自宅で書きながら、祭の様子が気になった。



(2006年4月2日 記)